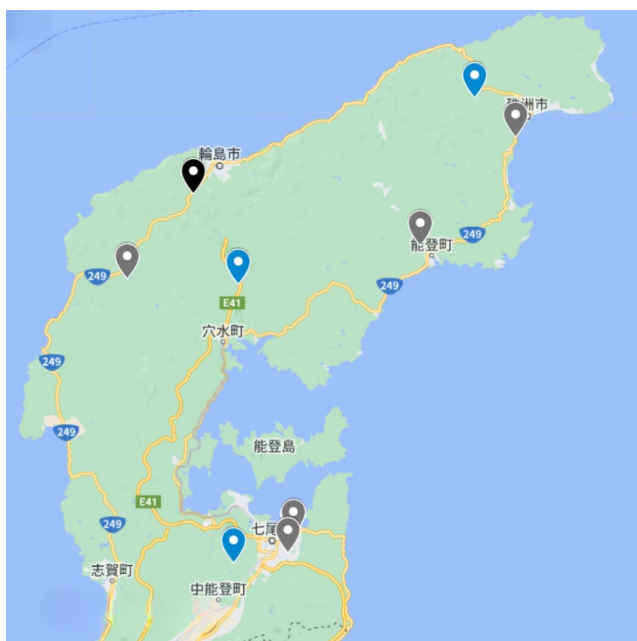


能登半島地震におけるアスファルト合材工場、コンクリート工場の状況について(第3報)




輪島市のコンクリートプラントの復旧は夏頃となる見通し

日工株式会社（本社：兵庫県明石市、代表取締役社長：辻 勝 証券コード：6306 以下、「日工」）は能登半島地震におけるアスファルト合材工場、コンクリート工場の状況(第3報)を以下のとおりご報告いたします。



 2024.3.1現在

当社製設備を納入している工場の状況

-  稼働可能なアスファルトプラント
-  稼働可能な生コンクリートプラント
-  稼働困難な生コンクリートプラント

※他社製プラントにつきましては詳細不明です。
そのため他社製プラントを地図に反映させておりません。

令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

被災地では復興に向け、アスファルト合材や生コンクリートの需要が高まっています。

日工は、復旧の要となるアスファルト合材工場、コンクリート工場に納入した製造設備の状況について随時情報を公開してまいります。

第3報として2024年3月1日現在、石川県七尾市以北の能登地域の製造設備の状況を以下のとおりご報告いたします。

メーカーとして納入した製造設備（以下、「プラント」）の状況を確認したものであり、工場の営業を報告するものではありません。

日工は、すべての事業において被災したプラントの復旧を最優先とし、被災地の早期復興を全力で支援してまいります。

- アスファルトプラントの稼働状況※七尾市以北、日工製

稼働可能：3基

- 生コンクリートプラントの稼働状況※七尾市以北、日工製

稼働可能：6基

稼働困難：1基

- 第2報からの進捗

従業員の安全確保を最優先に考えながら、修理対応に取り組んでおります。

また、北陸サービスステーションへの人員増強やエンジニアの現地派遣などを行い、迅速な修理対応を心がけております。

【アスファルトプラントの状況】

七尾市以北の当社製アスファルトプラントはすべて稼働できる状態となりました。

引きつづき、地震の影響を受けたプラントの修理対応を行ってまいります。

【生コンクリートプラントの状況】

輪島市のコンクリートプラント1基が復旧しました。

残る1基（輪島市）は、被害が大きくプラント入替となるため夏頃の稼働開始となる見込みです。

一日でも早くプラントを納められるよう優先的に取り組んでまいります。

- （参考）アスファルト合材、生コンクリートの輸送可能時間について

アスファルト合材は出荷から概ね90分以内の輸送が求められます。

性質上、冷めると固まるためであり、冬季は輸送可能時間が大幅に短くなることもございます。

生コンクリートにおいても、JIS規格により製造から90分以内に荷卸し地点に到着することが定められております。

- 日工株式会社について

1919年、世界的商社であった鈴木商店関係者により創業。スコップなどの工具制作からはじまり、今日は日本のインフラを支えるプラント機械メーカーとして事業展開を行っています。アスファルトプラントの国内シェアは70%以上に上り、空港などの巨大インフラから生活道路まで皆様のまちづくりのお手伝いをしています。

会社名：日工株式会社

代表者名：辻勝（つじまさる）

URL：<https://www.nikko-net.co.jp/>

所在地：〒674-8585 兵庫県明石市大久保町江井島1013-1

TEL：078-947-3131(代)

日工株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchlp/company_id/81441